幸せをカメラに収める宮参り
「七五三」にぎわった鎌倉宮

子どもの無事な成長を祝う一七五三の宮参りは11月に入ると目立ちだすが、11日の日曜は大安で昼前後から秋晴れとなった。しかも前の日が降雨だったこともあって、鎌倉市内の神社はどこも着飾った親子らでにぎわった。

鎌倉宮（船橋信彌宮司）は例年にない人出で5百組ほどが訪れたII写真。境内社務所で着替えるセットの着物、記念写真、ご祈とう、千歳あめがセットになっている。

ふだん着で訪れて着替え、祈とうのあと、鎌倉の海など散歩して帰るのだという。家族で参拝し、記念写真をパチリ。幸せの笑顔が、紅葉しだした境内を埋めていた。

バリ舞踊や和太鼓で交流
大仏殿の国際フェスティバル

鎌倉市内を中心に国際交流や協力を行っている団体の国際交流フェスティバルが11月11日、高徳院（鎌倉大仏）で開かれ、5千人ほどの人出があったII写真。

今年13回目で、昨年より2団体増えて19団体が参加。実行委員長でいけばな小原流若槻会の栗村淑香さんがモミジ、ツバキやキクなどを生けて献花したあと、舞台で湘南日独協会のアルプホルンの演奏や、特別参加のバリ舞踊、和太鼓の演奏、空手協会の空手の演武があった。

大仏のまわりに設けられたブースでは、鎌倉ユネスコ協会の各国の衣装の試着、ラオスやカンボジア関連団体のバザー、さまざまな団体の模擬店や活動紹介などがあった。

青年会議所有志らのお茶席や三曲協会の奏でる琴や尺八、三味線の音色も会場を盛り上げた。

ひと
環境保全支援の第14回コンサートを主宰する
村田望（むらた のぞみ）さん

「お母さんにしかられてイチゴ摘みにきた森の中、兄妹は妖精や天使、魔女に会う。数々の歌と踊り。兄妹はやがて魔女に捕らえられる。二人力を合わせ、機転をきかせて魔女を退治する」

12月2日（日曜）午後2時から鎌倉生涯学習センターで上演される歌劇「ヘンゼルとグレーテル」のあら筋である。

主催するのは「鎌倉を愛する音楽の仲間」で、代表が村田望さん。「第14回ナショナルトラスト・チャリティーコンサート」が正式の名称で、鎌倉風致保存会を支援している。

村田湛、佳代子夫妻の長女で声楽家。県民ホールでのリサイタルなど各地の演奏会に出演している。その一方でTVの司会、ナレーション、インタビューなどもこなしている才媛である。

「14年間もよく続いてきていると思う。音楽というそずなで結ばれ『何か社会の役に立てれば』との思いが支えになっている。環境保全という共通意識の温かな応援もうれしい」

このコンサートが始まったのは94年12月。イギリスのナショナル・トラストを参考に、日本で最初の環境保全市民運動が鎌倉風致保存会。この発足30周年を祝う公演を市民ボランティアとして手掛けた。

翌年、阪神淡路大震災が起こり、被災者支援コンサートを実現させた。画家の佳代子さんが脚本や演出、舞台づくり、望さんが歌と語りの「母と娘」の二人三脚を中心に演奏会をしている。

音楽の仲間たちはいま23人。コンサート10回まではは佳代子さんが代表。その後、望さんにバトンタッチされ、毎年12月に発表している。

「参加している人たちはみなさん各方面で活躍されているプロの音楽家や演劇人です。20代から40代くらいの方が中心で鎌倉だけでなく、首都圏全般から駆けつけてくれる。出演はボランティアで、毎回数十万円を風致保存会に寄付している」

クラシックからミュージカル、オペラ、朗読劇など、幅広い分野に挑戦している。

毎年6月ごろ上演の出し物を決め、村田さんのアトリエが、稽古場に早変わりする。

「積み重ねた努力が報われたときはうれしい。会場のお客さまに思いが届き、心がひとつになったときは、やってきてよかったと思い、次への原動力になります」

大町在住。（☎音楽の仲間0467-22-1759、鎌倉風致保存会23-6621）（N）

親子たち2百人が楽しく童謡
沢木順さんの集い大好評

「そろさん　そろさん　おはなが　長いの　ね」―鎌倉市御成小の多目的ホールに、11月3日午後、親子たちの童謡の大合唱が響いた。

指導したのは同市山ノ内在住のミュージシャン沢木順さんII写真。

子どもたちが童謡を歌わなくなってきているのを知った沢木さんが、市民らに呼びかけて実現した「孫・子と歌おう名作童謡」の集いで、子どもたちを含め約2百人が参加した。

11月2日付の鎌倉朝日を見て駆けつけた、お孫さん連れのお年寄り夫妻。3世代一緒の家族らもいた。

沢木さんの巧みな会話と歌の指導で会場は楽しい雰囲気に包まれた。

ピアノの松原真咲さんとの呼吸もぴったりで、「ふるさと」「七つの子」「赤とんぼ」など、2時間ほどに及ぶ、世代を超えた歌声は時間を忘れさせた。

一次はいつですか」の言葉を残していく人もいた。

もちつき、模擬店、演奏会など
5千人で埋まった玉縄まつり

心の通うまちづくりを合言葉に始まった14回目の玉縄まつり（田中八郎実行委員長）は雨で順延となった11月11日、予定通り玉縄小校庭で行われた。天気もよく会場は5千人（実行委）で埋まったII写真。

おでん、コーヒー、やきそば、もちつきなど飲食の模擬店だけでなく、竹、わらの細工物、植木、衣類、野菜の即売、生ゴミの処理相談、健康チェックコーナー、大船消防署のはし子車試乗会、祭りばやし、ジャズ演奏会など、何でもありの会場。

もちつきは城廻おはや子会（石井広志会長）有志の仕込みで50うす分用意した。キナコ、アン仕立てを1ケ1ス3百円で即売したが長い列ができた。はしご車など行列のできるものがあちこちにできた。

焼香して思い出の写真焼く
遠方からも訪れた写真供養

刻んできた人生の写真を燃やす11回目の写真供養感謝祭が11月3日、鎌倉の瑞泉寺で行われ、燃え盛る炎に、手を合わせながら写真を投げ入れたII写真。インターネットでこの行事を知ったという仙台、大阪など遠方から駆けつけた人など、約3百50人が訪れた。ダンボールや大きな紙袋に入れて持ち込む人もいた。

大下一真住職らの読経の中、約25万枚の写真が炎となった。過去と決別、消えていく写真に涙する人もいた。特に今年はイヌ、ネコなどペットの写真が目立った。

足・靴の悩み無料相談
大船ロビンフット靴店

婦人靴・紳士靴・子供靴と品揃えは豊富

靴が合わない、歩くと足が痛いという人は、「大船ロビンフット靴店」へ。無料足診断で、足を計測し、足の形状や健康状態を"カルテ"にして、ぴったりの靴を選んでくれます。

また、中敷きの製作や、靴の加工で、足と靴の悩みに応えてくれます。

こんな悩みはぜひ相談を
外反母趾、扁平足、タコ、ウオノメ、巻爪、ハンマートゥ、膝関節症、股関節症、腰痛、リウマチ・糖尿病・麻痺で履く靴がない。子どもがよく転ぶ。歩き方がおかしい。

営業時間／10時～19時
定休日／なし
大船駅東口徒歩3分
☎0467(42)6322

無料足診断券
"足のカルテ"
プレゼント
ご利用時に掲示してください。
大船ロビンフット靴店

CHINESE-RESTAURANT
大切にします……「心」からのおもてなし。
中国料理　華正楼（かせいろう）
●鎌倉店／鎌倉長谷大仏前 ☎0467(22)0280㈹ ●横浜中華街／本店 ☎045(681)2918㈹ 新館 ☎045(661)0661㈹

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前 ☎0467-22-0266
大船駅東口前 ☎0467-46-3841
島森書店

展示即売会場
2F 貸画廊(75㎡)
3F 貸教室
ギャラリー島森
●予約申込み・問合せ ☎0467(24)3160　島森商事㈱

い・い・ま・ち・鎌倉
御成（おなり）不動産
(扇ヶ谷入口第一生命前)
鎌倉市御成町13番22号 ☎0467－25－1003㈹

明日の環境を創造する。
浄化そうの清掃維持管理
貯水槽清掃及び環境整備事業は
株式会社 神中運輸
〒248-0007 鎌倉市大町4-1-35 ☎(0467)(22)2205㈹

花キューピット 全国にお花を贈ります。
クリスマスギフト、ポインセチア好評販売中！
㈲ナカムラ生花（ショウハナ）
鎌倉市材木座3-9-34 ☎0467-25-4187㈹ FAX 25-4188